令和4年7月28日
208・209会議室

令和4年第14回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

令和4年第14回立川市教育委員会定例会

1 日 時 令和4年7月28日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 2時17分

2 場 所 208・209会議室

3 出席者

教育長 栗原 寛

教育委員 石本 一弘 伊藤 憲春

鳴田 敦子 小林 章子

署名委員 伊藤 憲春

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 齋藤 真志 教育総務課長 小林 直弘

学校施設建替担当課長 鈴木 信貴 学務課長 杉浦 丘美

指導課長 佐藤 達哉 主任指導主事 寺田 良太

統括指導主事 片山 伸哉 学校給食課長 青木 勇

生涯学習推進センター長 庄司 康洋

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 笹原 康司 柏崎 彩花

案 件

1 協議

- (1) 学校給食費の公会計化について
- (2) 歴史民俗資料館の臨時休館について

2 報告

- (1) 立川市中学生平和学習派遣事業の実施について
- (2) 新型コロナウイルス感染症の対応について

3 その他

令和4年第14回立川市教育委員会定例会議事日程

令和4年7月28日

208・209会議室

1 協議

- (1) 学校給食費の公会計化について
- (2) 歴史民俗資料館の臨時休館について

2 報告

- (1) 立川市中学生平和学習派遣事業の実施について
- (2) 新型コロナウイルス感染症の対応について

3 その他

◎開会の辞

○栗原教育長 ただいまから、令和4年第14回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 承知しました。

○栗原教育長 本日は、協議2件、報告2件でございます。その他は議事進行過程で確認をいたします。

次に出席者の確認を行います。齋藤教育部長、お願いいたします。

○齋藤教育部長 本日第14回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学校施設建替担当課長、学務課長、指導課長、寺田主任指導主事、片山統括指導主事、学校給食課長、生涯学習推進センター長、以上でございます。

◎協 議

(1)学校給食費の公会計化について

○栗原教育長 それでは、1協議(1)学校給食費の公会計化について、を議題とします。

青木学校給食課長、説明をお願いいたします。

○青木学校給食課長 学校給食課より、学校給食費の公会計化について、協議をお願いします。

資料の1、概要をご覧ください。

公会計化により、学校給食費の徴収管理や督促業務、食材料の調達、支払いを市で行うこととなり、教員の業務負担軽減、保護者の利便性の向上、徴収管理業務の集約及び効率化など効果が見込まれます。

移行時期としましては、小学校の共同調理場校が令和5年4月から、小学校の単独調理校と中学校は新調理場稼働する令和5年2学期からとします。

2、立川市立小学校及び中学校の学校給食費に関する条例(案)等についてをご覧ください。

令和5年度から公会計化するための準備が必要となるため、令和4年9月議会に、立川市学校給食費の管理に関する条例案を提出します。条例では、目的や定義、台帳の整備など管理に関する事項を定め、給食提供の申込みや給食費単価、督促などの様式などは条例施行規則で定めます。

3、学校、保護者の行う主な手続きについてをご覧ください。

移行するに当たり、学校におきましては、債権譲渡に係る滞納者情報の取りまとめ、保護者への周知文書等の配布、保護者におきましては、学校給食申込書、口座振替依頼書の提出を行っていただくこととなります。

4、学校給食収納管理システムについてですが、現在入札を行っており、今後業者が決定する予定となっております。

令和5年4月稼働に向けて、システムの構築・テスト等を行ってまいります。

5、今後の予定をご覧ください。

9月議会において条例案を審議していただき、10月、教育委員会において条例施行規則案を協議していただくとともに、在校生の保護者に対し、学校給食申込書及び口座振替依頼書などを配布、提出いただきます。

小学校の共同調理場校が令和5年4月から、小学校の単独調理校と中学校は新調理場が稼働する令和5年2学期から公会計化を実施してまいります。

学校給食課からは以上となります。

○栗原教育長 説明、ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

伊藤委員。

○伊藤委員 ご説明ありがとうございます。

本当に大賛成です。先生方の負担はととも少なくなるし、いいことづくめであると思いますが、これが始まってからの今後のシステムというか、教育委員会の中にこのお金を扱う場所ができるのか、それとも会計課や財務部等の所轄になるのか、分かれば教えていただければと思います。

○栗原教育長 青木学校給食課長。

○青木学校給食課長 今ご質問いただきましたお金の関係になるわけですが、管理、徴収に関しては学校給食課内で行うこととなります。

以上です。

○栗原教育長 ほか、ございますか。

嶋田委員。

○嶋田委員 ご説明、ありがとうございます。

本当に教職員の皆様の負担が少しでも減ることになるだろうと思うので、とてもいいことだと思っております。

ただ、保護者にとっての利便性の向上というのはどういったことが挙げられるのでしょうか。

○栗原教育長 青木学校給食課長。

○青木学校給食課長 保護者の利便性の向上なんですけれども、今までは、学校が指定をする口座から引き落としのみだったものが、今回、公会計化するに当たりまして、ほぼ全ての金融機関からの引き落とし口座の設定が可能になっております。

以上です。

○栗原教育長 嶋田委員。

○嶋田委員 ありがとうございます。分かりました。

このスケジュールなんですけれども、切替えが単独校と中学校は令和5年度の2学期からということで、1年生などは3月、入学前に現在の形での手続きをして、またすぐに新たに市に対しての手続きをしなければならぬと思うんですが、そこはやはり共同調理場ができてか

らということになるのでしょうか。

○栗原教育長 青木学校給食課長。

○青木学校給食課長 現在、単独調理校と中学校は、新調理場ができたときに、中学校では給食費の価格が下がることもありますし、単独調理校においてはその学校ごとに会計をやっておりまして、食材料費、その他についても学校で現在払っている状態になっております。それを新調理場になったときから、市で一括して材料費の発注をしたり納品を受けたりするようになりますので、そこからでないといけないというのが現状でございます。また、夏休みの間に給食費についての整理のほうもしていかなければいけないというのがございますので、この期間を使いたいと考えているところでございます。

以上です。

○栗原教育長 補足をすると、単独調理校は、現在学校にて徴収している私費会計については、来年の1学期はどうしても従来通り徴収していただくので、嶋田委員ご指摘の新1年生は2段階になってしまいます。1学期までの徴収と2学期以降の徴収は、どうしても同一時期でということなかなか難しいということでございます。

嶋田委員。

○嶋田委員 中学校のほうは待ちに待った給食なので問題ないと思うんですけども、単独校の保護者の方は様々な思いがございまして、一つ一つ分かりやすく、丁寧にご説明をしていただけるといいと思います。よろしくお願いたします。

○栗原教育長 ありがとうございます。

ほか、ございますか。

小林委員。

○小林委員 私も切替えのときにトラブルがないかということが気にかかっていましたので、システム上、大変なこともあるかと思っておりますので、ご注意くださいというふうに思いました。

それから、業務量を減らすことができる、改善できるということで、参考として、未納額が出ています。市としては金額が気になるかと思っておりますが、業務を考えた場合に、どのくらいの家庭数が未納になっているのかを知りたいと思っておりますので、分かれば教えていただければと思います。

○栗原教育長 青木学校給食課長、資料をお持ちでしたら、お願いたします。

○青木学校給食課長 今お話のありました滞納者の件数なんですけれども、約50件くらいと申してください。それで120万円くらいというのが現状でございます。

以上です。

○栗原教育長 小林委員。

○小林委員 数字だけでは表せない大変さがあるのかと思っておりますが、それが改善できればと思いました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。

ほか、ございますか。

石本委員。

○石本委員 本当にここまでくるには長い時間と膨大な粘り強いご努力があったと感謝しています。うちの子どもたちにも子どもの時代からずっと話題になっていたことでして、早くそういう時代がこないかというふうに本当にため息混じりで話題にしたことを思い出します。皆さんのご努力に感謝申し上げますとともに、子どもたちのためにどうか栄養豊富でおいしい給食を提供していただきますようお願いいたします。本当に感謝しております。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。

ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 ないようでございます。それでは、お諮りします。1協議(1)学校給食費の公会計化について、は提案のとおり承認することでご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、1協議(1)学校給食費の公会計化について、は承認されました。

◎協 議

(2)歴史民俗資料館の臨時休館について

○栗原教育長 続きまして、1協議(2)歴史民俗資料館の臨時休館について、を議題といたします。

庄司生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○庄司生涯学習推進センター長 それでは、生涯学習推進センターより、歴史民俗資料館の臨時休館につきましてご協議をお願いいたします。

歴史民俗資料館の本館展示室及び収蔵庫につきましては、くん蒸消毒を定期的に行っております。このたびその日程が決まりましたので、条例3条の規定に基づき、臨時休館をしたいものでございます。

臨時休館でございますが、9月12日、月曜日が休館日でございます。その後4日間臨時休館ということで、9月13、14、15、16日の4日間を臨時休館として定めたいとするものでございます。

消毒業務の内容でございますが、文化財資料の保存に影響を来す虫卵等を駆除し、展示、収蔵施設内の環境を整えてまいります。具体的には館内の各室、区画ごとに空間を仕切りまして、目貼り養生後、消毒剤を充填するものでございます。消毒効果の確認後、一般の開館利用に復する作業を行ってまいります。

実際、資料館本館ですが、1階、2階の常設・特別展示室、2階の収蔵庫、特別収蔵庫につ

きまして、あるいは新館の2階の収蔵庫を対象としたいというふうに考えているところです。併せて、施設内、離れにございます、北側にある井上家土蔵全体のほうにも消毒業務を行ってまいりたいと考えているところです。それ以外の室内区画については、簡易的なもの、乳剤、殺虫剤を散布するものでございます。

なお、歴史民俗資料館でのくん蒸消毒は毎年秋に実施しておりますが、館内の環境によっては強力な薬剤を使うことがあります。環境調査により、本館展示室等において強力な薬剤を使用する際は、来館者等の安全を考慮し、臨時休館を設けているものです。

今回と同様、臨時休館を設けたくん蒸消毒は、令和元年、3年前以来となります。

休館する業務ですが、お客様が主に見学にいらっしゃる業務です。館内、施設での展示公開、収蔵資料に関する閲覧、問合せ、利用に関する業務です。

一方で、通常どおり行う業務もございます。埋蔵文化財包蔵地の照会や届出、指定文化財の保存や保護に関する文化財の電話相談等は、新館会議室、通用門を入りまして左手になりますが、その1階が会議室になっております。そこに電話線を引いて通常どおり業務を行うものでございます。

そのほか川越道緑地古民家園につきましては、通常どおり開園をいたします。

周知については、広報たちかわ8月25日号に掲載を予定してございます。

併せて、館内、資料館ホームページ等への掲示を予定しているところでございます。

説明は以上でございます。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いいたします。

石本委員。

○石本委員 お願いです。一つは、文化財の保存に関するということなので、業者さんにもよく周知徹底を図っていただきたいということと、周知ですが、ホームページ等で掲示されますが、館内の特に玄関付近での分かりやすい掲示をぜひお願いしたいなと思います。

以上です。

○栗原教育長 庄司生涯学習推進センター長。

○庄司生涯学習推進センター長 2点、お話をいただきました。1つ目の消毒等の業者につきましては、文化財を専門に行っている業者でございますので、仕様書上では十分に配慮することをうたっておりますが、さらに説明をして、大切な文化財であることを理解した上で作業に当たるように注意してまいります。もちろん職員もところどころで立会いながら行きます。消毒では立会いはできませんが、直前まで立ち会ってまいりますので、指示しながら行っていきたく思っております。

もう一つは、掲示の問題でございます。入り口のほうにしっかり掲示をさせていただき、分かるようにいたします。

それ以前に、歴史民俗資料館が休館になるということをもまず周知して、足を運んでいただかないように、この期間は休館ということをしっかりホームページ、あるいは何らかの媒体

が使えれば、まず休館であるという事実を伝えて、さらに来てしまったお客様に対して、休館ということがはっきり分かるように周知をしてみたいと考えております。

以上でございます。

○栗原教育長 よろしいでしょうか。

ほか、ございますか。

小林委員。

○小林委員 定期的な消毒が必要になってくるものだという事は分かりますけれども、自分の家でも殺虫剤のスプレーとかを使うのがすごく嫌です。部屋全体、何か薬剤が埋まってしまふような気がして、それでここに強力な薬剤を使うことがあると書いてあったので気になりました。5日間で済めば、影響はないということだと思いますが、根拠がありましたら示していただければと思います。

○栗原教育長 庄司生涯学習推進センター長。

○庄司生涯学習推進センター長 薬剤が幾つかございます。1つは強力な薬剤で、製品名でいいますとシェノトリン炭酸ガス製剤というのがございます。こちらは少し強力なものでございまして、前半の2日間、休館日並びに13日、臨時休館日の初日に、2日間やることを想定しています。それ以外は比較的人体に影響が少ないものとなり、前半に強力なものを行うことで、なるべく人体に影響がないよう配慮の期間を設けて開館に復するというところでございます。全く影響がないということにはございませんが、期間を置くことによって、薬剤が人体に与える影響のレベルを減らすスケジュールでございます。

○栗原教育長 小林委員。

○小林委員 それを聞いて安心いたしました。ありがとうございました。

○栗原教育長 今、庄司生涯学習推進センター長から話があったとおり、もちろん強力な薬剤は使うのですけれども、一定の期間を空けることで、来館者に影響はないというところまで閉めます。そこは業者さんとの打合せでそうなっていると思います。

ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 ほかはないようでございます。それではお諮りいたします。1協議(2)歴史民俗資料館の臨時休館について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、1協議(2)歴史民俗資料館の臨時休館について、は承認されました。

◎報 告

(1) 立川市中学生平和学習派遣事業の実施について

○栗原教育長 続きまして、2報告(1)立川市中学生平和学習派遣事業の実施について、を議題といたします。

庄司生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○庄司生涯学習推進センター長 立川市中学生平和学習派遣事業の実施につきまして、生涯学習推進センターより報告いたします。

平成30年度よりこの事業を実施してございます。生涯学習の一環として、市内の中学生を被爆地である広島に派遣し、原爆ドームや平和関連施設を見学、また、被爆者等から講話をいただくなど平和学習を行い、広島を見て、聞いて、感じたこと及び平和について考えたことを別の形で報告ということで市民に発信することが事業概要でございます。

なお、平成30年度、31年度実施はいたしました。令和2年度、3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして中止をしてございます。

本年度のスケジュールでございます。事前学習会を過日7月18日、祝日になりますが、柴崎学習館で開催させていただきました。保護者の方同席のもと、説明会と「学ぼう 広島」ということで、ピースボランティアの方と、あと立川市民で90歳を超える方でございますが、当時、広島にて被爆された方がいらっしゃいます。その方のお話を、この申込みをされた方と中学生と一緒に事前学習したものでございます。

実際に派遣する日でございますが、令和4年8月16日、17日の一泊二日でございます。

その後、事後学習会を9月に、また、報告会準備ということで2回予定してございます。報告会はまだ正式に決定はしてございませんが、令和5年2月5日の教育フォーラムの中で報告を予定しております。

対象は、市内中学校の生徒さん9人、各中学校より1人を選抜しています。

募集方法ですが、裏面にあるチラシで、6月に募集をしまして、作文を書きいただき、その作文の結果で1人を選抜させていただきました。どうしても1人の枠でしたが、もちろん落選した生徒さんもすばらしい作文がありました。読ませていただきまして、非常に熱意が伝わってまいりました。本当に皆様に伝えていこうという気持ちがすごく伝わってきた作文が多かったです。

随行者の予定でございますが、栗原教育長と教育委員会の事務局職員4名で随行させていただきます。記載のとおりでございます。

その他派遣終了後、また本定例会で報告を予定してございます。

簡単ではございますが、以上となります。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

嶋田委員。

○嶋田委員 ご説明ありがとうございます。

昨年、一昨年と残念ながら行けなかったのが、今年は何とか行っていただけるとありがたいと思います。

私は九州出身で、小学校では長崎に、中学校では広島に修学旅行に行ったのですが、それが当たり前だと思っていたので、東京の子どもたちは被爆地に行かないのかというのがすご

く驚いたのですけれども、やはり現地に行かないと分からないことがたくさんありますので、怖いとか、嫌だというのを直感として感じられる多感な時期に行っていただくのは本当に貴重な経験になると思いますので、ありがとうございます。

それで今年は9人ということで、コロナ禍の中で何とか行っていただくということで、本当に十分なんですけれども、今後、来年以降、少し人数を増やすということもご検討いただけないかと思いますが、いかがでしょうか。

○栗原教育長 庄司生涯学習推進センター長。

○庄司生涯学習推進センター長 人数を増やすということでございますけれども、主管課としても教育委員会としても、より多くの生徒にぜひ行っていただきたいという気持ちはございますが、ではどこまでお子さんたちを連れていけばいいか、いつもこういうことでは予算の話が出て恐縮でございますが、予算の問題等ございますので、まずは1人という考えでございますが、それ以上はなかなか難しいと考えてございます。

○栗原教育長 齋藤教育部長。

○齋藤教育部長 今、嶋田委員のほうから、より多くの生徒にとということでご意見をいただいたところでございますが、現在、広島を訪れる事業については、学習館の事業という形で整理して今実施をしております。コロナで中止になった2回がございますので、30、31年、今回ということで、事業の実施状況、あるいは生徒さんの教育課程の中での日程等も考えながら、どこまで拡大化できるかは、今の時点では正直お答えできないところがありますが、引き続き実施状況は見守ってまいりたいと考えてございます。

以上です。

○栗原教育長 嶋田委員。

○嶋田委員 丁寧にお答えいただきありがとうございます。

学校から1人ということですが、1人では抵抗を感じる生徒もいると思いますので、2人などであれば、一緒に応募してみる子も増えるかと思えますし、帰ってから各学校や地域等にフィードバックもしやすくなるのではないかと思いますので、費用の面で、費用負担を、子どもたちのほうに旅費の一部を負担してもらおうとか、どこかから援助していただくということが考えられるかなと思いますので、ぜひご検討していただきたいなと思います。

今年気をつけて行ってきていただければと思います。よろしくお願いします。

○栗原教育長 ほか、ございますか。

小林委員。

○小林委員 もう既に9人は決まっているということだと思っておりますが、参考までに、このチラシは全生徒に配られたものなんでしょうか。そして何人くらいの応募があったのか、教えてください。

○栗原教育長 庄司生涯学習推進センター長。

○庄司生涯学習推進センター長 このチラシですけれども、校長会でまずご説明させていただいて、全校の生徒分配布させていただきました。

応募ですけれども、1人だったという学校もございますが、多いところで4人でした。平均して3人くらいのお子さんが応募をされて、選抜という形になりました。

○栗原教育長 小林委員。

○小林委員 ありがとうございます。

応募者が少ない気がするのですけれども、このチラシを見て、しっかり読んで、考えて、やってみよう、行ってみようと思う子はかなりよく考えている、勇気のある、積極的な子だと想像できます。それだけに成果も大きいかと思いますが、もう少し気楽に応募できると良いと思います。いろいろなタイプの子がいて、いろいろな感じ方があると思うので、いろいろなタイプの子が行って見てきたほうが良いと思うので、この字ばかりのチラシだと、作文も800字までなので、門が狭い気がしています。感想となります。

○栗原教育長 庄司生涯学習推進センター長。

○庄司生涯学習推進センター長 実は応募の人数が例年より比較的少なかったようでしたので、何人かの校長先生に聞いてみましたところ、やはり2年間中止になったこと、コロナのことがあってなかなか難しいのではなかったのかというようなことは聞いてございます。

あとチラシですけれども、ここににつきましては、もう少し見やすくすとか、応募しやすいものを、来年に向けて、皆さんや学校のご意見をいただきながら、作成に当たってまいりたいと思っております。

○栗原教育長 小林委員。

○小林委員 ありがとうございます。

それと教育フォーラムの中で報告を予定しているということですが、教育フォーラムは過去2回オンラインになってしまっているのです、実際に対面で集まっているという状況を最近では経験していないのですが、どのような方が観客としていらっしゃるのか、教えてください。

○栗原教育長 寺田主任指導主事。

○寺田主任指導主事 教育フォーラムに関しましては、学校関係者もそうですし、地域、一般市民に広く声をかけて参加していただいております。教育委員、学校関係者や保護者等が多いのですけれども、一般市民の方も参加できるように広く声をかけてまいります。

○栗原教育長 小林委員。

○小林委員 広く市民の方に聞いていただいて、中学生がこのような学びを行っていることを知っていただく、内容も伝えることが大事かと思います。広島へ行って、戦争の悲惨さとか二度と戦争をしてはいけないということを若い人に知ってほしい、伝えたいという気持ちがあります。将来のある若い人が感じてほしいということで、代表としてこの9人の方が行かれますけれども、中学生の代表としてなので、ぜひ中学生にその体験を伝えてほしいと思います。そのような機会はいかがでしょうか。

○栗原教育長 寺田主任指導主事。

○寺田主任指導主事 今回の募集の中でも子どもたちを募集する際には、校内でも広く伝えて

いくということで了解を得ておりますので、そういったところも作文に多数見られましたので、学校も管理職には伝えて、体験を伝える場を設けていただいております。

○栗原教育長 補足ですけれども、9人ですから、各中学校から1人ということで、教育フォーラムですけれども、まずは自分の在籍している学校で広島に行って感じたことを伝えることは、大きな派遣の生徒たちの役目でもございますので、活動はしてまいります。

小林委員。

○小林委員 ぜひ貴重な体験を、多くの友達、中学生に伝えていただきたいと思います。とても成果を期待しております。

○栗原教育長 ありがとうございます。

ほか、ございますか。

伊藤委員。

○伊藤委員 ご説明ありがとうございます。発言をする予定ではなかったのですが、皆様のお話を伺っていて、立川市の中学生全員が行ければいいというのは当然のことだと思いますが、一つだけ気になる場所がありまして、受け入れるほうとしては8月のこの時期は大変お忙しい。前に行かれた方の報告会を聞いたときに、丁寧に説明してくださっているのですが、この時期ではないほうがゆっくりいろいろなお話を伺えるのでは、必ずしも終戦、夏休みでなくてもいいのではという気もいたします。そのような感想を持ちましたので、一つの意見として聞いていただいて構わないと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 ないようでございます。これで2報告(1)立川市中学生平和学習派遣事業の実施について、の報告及び質疑を終了いたします。

◎報 告

(2) 新型コロナウイルス感染症の対応について

○栗原教育長 続いて、2報告(2)新型コロナウイルス感染症の対応について、を議題といたします。

小林教育総務課長、説明をお願いいたします。

○小林教育総務課長 それでは、新型コロナウイルス感染症の対応について、ご報告いたします。

まず、立川市新型コロナウイルス感染症対策本部の開催状況でございます。

令和4年7月19日以降では、第85回と86回を開催しております。

85回は7月19日、土曜日に開催しまして、1ページにございます4つの事項について、また、86回につきましては7月25日、月曜日に開催しまして、1ページと2ページにございます3つの事項について対応等を検討、決定したところでございます。

順次ご報告いたします。

まず、市内の感染状況等についてです。第86回のほうが最新となりますので、資料の18ページをご覧くださいいただければと思います。横使いの表になってございます。

一番上の表が令和4年7月の人数になっております。数字をご覧くださいいただければ、7月13日、水曜日以降が100人台になりまして、22日の金曜日は273人でございます。こちらに記載はございませんが、23日の土曜日は490人、それ以降は200人から約350人で推移している状況でございます。

下にグラフ等がございます。第6波の2月10日が254人と、その時期は一番多い人数でしたが、先ほど23日は490人ということで、それをはるかに超える感染者の人数が増えている状況でございます。

続きまして、6ページをご覧ください。こちらは今回の感染拡大への対策に関する方針と取組についてでございます。7月15日、東京都で開催しました第75回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定されました今回の感染拡大の対策に関する方針と取組の資料になります。この方針と取組に基づきまして、当市におきましてもワクチン接種の促進や、市民への感染拡大防止の呼びかけなどを実施していくこととしたところでございます。

13ページにございますが、学校の対応ということで、このチラシを小・中学校に配布を行ったところでございます。

続きまして、14ページをご覧ください。新型コロナウイルスワクチン接種についてでございます。ワクチン接種事業についての資料等がございますが、ワクチン接種の実績や状況、高齢者施設、障害者支援施設の接種計画、また、高齢者施設従事者、医療従事者への4回目接種について、資料のとおり報告があったところでございます。

続きまして、16ページをご覧ください。新型コロナウイルス感染症対策事業についてでございます。医療体制の逼迫を防止するため、立川市の医師会と多摩立川保健所と連携しまして自宅療養者への支援、資料の1から4までの各種支援事業について、実施しているとの報告があったところでございます。

続きまして、17ページをご覧ください。第86回の内容でございます。2番目の丸でございます。濃厚接触者に係る待機期間の短縮についてです。

資料はございませんが、国が濃厚接触者待機期間を7月22日付で見直したことを受けまして、市職員等の濃厚接触者の待機期間を、基本的に7日間から5日間とすることなどを決定したところでございます。

続きまして、最後のページになります、20ページをご覧ください。こちらは、新型コロナウイルスワクチン接種についてです。ワクチン接種事業について、先ほど85回のところでご説明させていただきましたが、医療従事者等へ4回目接種の対象者拡大や、今後の方向性等に関して報告がありまして、立川市医師会と調整後、資料のとおり対応することを確認したところでございます。

最後になります。別の資料のA4の1枚の資料、小・中学校における新型コロナウイルス感染症

患者の発生についてでございます。7月1日から7月27日までの数字となっております。先ほども7月中旬以降人数が非常に増えているところでございますが、小・中学校におきましても2桁の人数、7月25日の月曜日には53人となっております、非常に感染者が増えているところでございます。7月1日から27日、昨日までの合計人数で、小学校児童が403人、教職員が19人、中学校生徒が137人、教職員が12人、合計で今月は571人の感染者が発生しているようなところでございます。

報告は以上でございます。

○栗原教育長 説明、ありがとうございます。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

伊藤委員。

○伊藤委員 もう皆さん分かっていると思いますが、全体的な緩みもありますので、最初にコロナがきたときは、電車の手すりとかでウイルスがどのくらい長い間生きているとか、つるつるしているほうが長いとか、悪いとか、危機感を持っておられたと思いますが、現実問題としては手につくことは怖くなくて、体内に入ることが怖いのであり、しっかりと手洗いやアルコール消毒をしたり、直接的な近距離でのお話がなければいいとは思いますが、全体的な緩みがあると思いますので、難しいとは思いますが、少しでも立川市からコロナの発生を少なくしたいとアピールをよりしていただくしかないかと思っております。よろしくをお願いいたします。

○栗原教育長 伊藤委員から、専門的な立場でご意見をいただきました。私たちもいま一度、基本的な感染対策ということ、もう一回基本に立ち戻って、自分も感染をしない、人にも感染をさせないということで徹底していきたいと思っております。

ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 ないようでございますので、これで2報告(2)新型コロナウイルス感染症の対応について、の報告及び質疑を終了いたします。

次に、その他に入ります。

その他は、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 その他はないようでございます。

◎閉会の辞

○栗原教育長 それでは、次回の日程を確認いたします。次回、第15回立川市教育委員会定例会は、令和4年8月4日、13時30分から302会議室で開催いたします。

これをもちまして、令和4年第14回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後2時17分

署名委員

.....

教育長